

経営（事業）計画書

令和6年度（第51期）



社会福祉法人さつき会

法人の経営理念(願うこと)

『私たちは、社会福祉事業を通して地域社会・住民にとってなくてはならない存在であり続ける。』

(趣旨)

社会福祉法人さつき会は、地域や施設において『尊厳にみちた環境で人としてごく当たり前の生活を保障されるべき高齢者』に対して、常に高齢者の立場に立った良質高度な高齢者福祉サービスを提供し、地域から、社会から愛され、信頼される事業主体になることを目指すこと。

法人の使命(果たすこと)

『高齢者の自立した尊厳ある、人間らしい生活を守る』

法人のビジョン(目指すこと)

- 一 自分が入りたいと思える施設をつくる
- 一 自分が住みたいと思える地域をつくる
- 一 自分と仲間が働きやすく働きがいのある職場をつくる

法人の介護理念(大切にすること)

- 一 人間尊重
一人ひとりをかけがえない人間として大切にします
- 一 当事者主体
その人の人生や生活の主体は、相手にあることを大切にします
- 一 利用者本位
常に相手の身になり、相手の立場に立って考え行動することを大切にします

社 是(求められること)

自立(自律) 信頼 創造

一 自立(自律)

自ら考え、自ら判断し、自らの良心と社会的規範に従い行動し、決定する。その結果について自ら責任を持つ。職員一人ひとりが自立(自律)の心を真に理解し、育み、持てる力を十分に発揮することによって、法人の発展と自己実現の達成に結びつけていくことを目指すものである。

一 信頼

法人の持続的な発展のためには、職員相互の信頼関係を大切にし、サービス・活動を通して顧客満足度をより一層高め、お客様の信頼を得ることです。

一 創造

経営は創造であり、各職員一人ひとりが常に進取の心を養い、自己啓発を進め、知恵と創意と工夫によって優れた介護の技法を創造するとともに、職員の力を結集して豊かで安心できる高齢社会に貢献し得る介護サービスを創出していくことである。

社 訓(心がけること)

1. 常に主体性をもって行動します。

私たちは、自らの置かれた境遇や立場や状況を他人や私たちを取り囲むもののせいにするのではなく、先ず、その中で自分たちに何ができるかを考え行動します。

2. 常にお客様の身になって行動します。

私たちは、お客様を大切にします。ご利用者・お客様のニーズの把握に努め、具体的な内容として居室の清潔性、同居者との相性、入浴回数、食事内容、食事時間、職員の対応等種々多様に考えられます。それらのニーズに即応した良質な介護サービスが提供できるよう介護技術の専門性を磨き、気配りし、利用者・お客様に満足していただけるようお客様の身になって行動します。

3. 常に目的をもち計画的に行動します。

私たちは、計画、目的、反省、改善のないところには進歩はあり得ないことを肝に銘じ、計画・実践・反省評価のサイクルを全ての業務・活動の原則とし、1日・1週間・1か月・1年の単位において計画し、最終の姿(目的)を描いてから行動します。

4. 常に人を理解してから、理解されるよう努めます。

私たちは、自分たちのことを理解してもらおうとする前に、相手の言い分を十分理解しようと努めます。

5. 常に人と人との交わりの中で、相乗効果を発揮するよう努めます。

私たちは、自分の考えと異なる考えを柔軟に受け入れ、相違点を尊び、お互いのいいところは認め伸ばし、弱いところは合い補いながら、相乗効果が発揮されるよう努めます。

6. 常に重要事項を優先するよう、心がけます。

私たちは、日々の活動の中で、緊急ではないが、重要なことを意識的にスケジュール化して活動します。日々の学習であったり、将来を見据えた若手職員の育成であったり、つまり長いスパンで物事を考えた場合に重要なことをさします。

7. 常に相手と自分が共に満足する結果が得られることを考えて行動します。

私たちは、皆のために十二分な結果が得られることを信じ、自分だけの満足だけではなく、相手(時には顧客であり、上司であり、部下であり、同僚であり、協力者である)の満足を考え、双方にとって有益で満足のいく結果をめざします。

8. 常に自分自身を研ぐ努力をします。

私たちは、自分たちの生活において、肉体的・知的・社会的・情緒的・精神的に自分のもっている能力を維持し、伸ばすための時間を意識してつくります。

第6次<2022-2024> さつき会中期経営3か年計画(基本方針・職場目標・重点目標・重点事項)

基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

全事業所職場目標

『一人ひとりの成長、チームの力、ICTを活用し、ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る』

1. 多様な人材採用・次世代経営幹部候補育成・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備	2. 業務の可視化による効率化と介護ロボット・ICT等の活用による職場環境改善	3. 利用者・家族・地域住民の健康・生きがいづくりと良質高度なチームケア(サービス)の提供	4. 適性利益の確保と内部統制の強化
(人材育成)	(業務改善)	(利用者・家族・地域へのサービス)	(業績・財務)
<p>多様な人材(外国人・アクティブシニア等)の採用と働き方の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活アシスタントの養成・採用・定着と介護の入門的研修の実施 外国人介護福祉人材の確保・定着・育成の体制づくり 社会福祉士養成校からの実習受入の拡充と人材育成 新たな就業時間・雇用形態についての検討と制度化 	<p>社内業務の可視化・基準化・標準化によるムリ・ムラ・ムダのない業務体制構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の仕事と業務プロセスの見える化の推進(全職員) 見える化された後の部門毎によるムダ取り・偏り改善の推進 	<p>施設・在宅における自立支援・中重度化対応・重症化予防の取り組み強化</p> <ul style="list-style-type: none"> おとしよりと職員の笑顔が増える暮らし・楽しみづくり 最新の科学的根拠に基づく、介護・看護、看護・医療の連携強化 施設・在宅部門におけるトータルケアの強化 	<p>在宅サービスの利用者数の増加と稼働率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 団塊世代ニーズに応える魅力ある事業所づくり 短期・通所・訪問の旭川市への市場拡大 特養・GH待機者の確保 町内の潜在ニーズの掘り起こし、効果的なPR、地域包括支援センターとの連携強化
<p>さつき会のより良い未来を牽引する中核人材(ネクストリーダー・幹部候補)の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 次世代経営幹部候補の育成 ネクストリーダー研修会の実施 総合職・専任職の仕事の明確化 	<p>介護ロボット・ICT・IoT活用による業務省力化・情報連携推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 新介護情報システムの活用による業務の合理化・効率化 目的と期待効果を明確にした介護ロボット・ノーリフティングケアの導入の研究・試用 	<p>住民参加による元気創り・生涯活躍の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的に施設運営に参加・協力するボランティアの確保と育成 住民参加型介護予防事業の充実 各事業所の地域交流スペース等の有効活用 	<p>事業所毎の実行性ある予算管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所毎による予算管理 財政健全化推進チームの活性化
<p>職員の成長とレベルアップを図るための施策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 階層別研修教育プログラムの作成 チャレンジ・公募による研修・委員会活動の推進 面談制度の見直し 介護力向上研修の強化・充実 	<p>将来を見据えた人員配置の見直しと最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務の分けと専門職・非専門職の定数配置の見直し 人事異動・課内配置転換(ジョブローテーション)の定期化 	<p>安心・快適な居住環境の整備と防災対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画(BCP)の策定と研修 鷹栖さつき苑の改修・改築・増築等の基本構想の策定 職員による地域貢献活動の拡充 中期修繕計画の策定 	<p>既存事業の強化・拡張及び新規事業開発の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種加算の取得 鷹栖地区高齢者住宅・サービス拠点の検討(統廃合含む) 混合介護・独自事業等の検討・試行
<p>安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスに関わる研修の企画と実施 有給休暇の取得推進 キャリアパスと給与制度の見直し 			

1 第6次中期経営3か年計画 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

令和5年度においては、全国的に特別養護老人ホーム、デイサービスセンターで大幅な経営悪化が判明する中、ケア・サービスの質の向上、働きやすく・働きがいのある職場づくり、住民・行政との協同による施設づくり、適正利益の確保に向け事業活動に注力してきた。しかし、この先、さらなる要介護高齢者の増加・生産年齢人口減少により、人材確保難が増悪化することが予想され、また、インフレ下において物価上昇が継続する等、介護施設・事業所を取り巻く経営環境は極めて厳しい状況が続くと考えられる。

社会福祉法人さつき会では、今後とも事業の実施にあたっては、利用者・職員の物心両面の幸福度を高め、全ての事業所で適正利益を確保する健幸経営を強く意識した経営・運営に積極的に取り組む。

2 令和6年度 全事業所職場目標

『一人ひとりの成長、チームの力、ICTを活用し、ケア・サービスの質向上と職場環境改善を図る』

【一人ひとりの成長】

さつき会の持続的発展は、一人ひとりの職員の存在と成長なくしてあり得ない。一方、人の成長は、「これでいい」と思った瞬間や、「忙しい・無理・大変」という言葉を発することで、自らの思考が鈍化したり、考えることをやめた瞬間に止まるとも言われている。職業人としてプロ意識を持ち、謙虚に周囲の意見に耳を傾け自己を振り返り、前向きな思考と向上心を持って、業務推進と改善活動に努める。

【チームの力】

職員一人ひとりの強み・持ち味を最大限に生かし、短所や弱点は互いに補い合い、互いの成長を刺激し合いながら、相乗効果でチームの力を高めて、個人では実現できない目標や価値をチーム全体で創りだすことに努める。

【ICTの活用】

利用者の真のニーズはどこにあるのか、福祉介護従事者が社会から求められていることはなにか、そういった課題に向き合うには一定の時間が必要である。さらに、新たな試みや挑戦をするには、情報収集する、考える、人と意見を交わし合う、計画するなど一定の時間が必要である。「ケア・サービ

スの質向上と職場環境改善を図る」ために ICT・介護ロボット・OA 機器を大いに活用して、業務の効率化・生産性向上に努める。

3 令和 6 年度 事業活動のポイント

(1) 多様な人材採用・次世代経営幹部候補育成・中核人材育成と安心・希望を持ち長く働ける職場環境の整備

- ① 法人の基本理念・ビジョンに共感・共鳴し入職を志す職員を採用するため、新規学卒者及び転職者希望者を対象とした、合同企業説明会に参加するとともに、法人独自の入社説明会・インターシップを開催する。また、若手職員を巻き込みながら SNS・オンラインによる法人の魅力発信を日常化し、LINE・オンライン等による求職者からの質問・申込みに対応する。
- ② アクティブシニアの就労・生涯活躍と介護の仕事のイメージチェンジを図るため、鷹栖町との連携による「介護の入門的研修」の実施及び介護以外の仕事を担当する「ケアアシスタント」の採用及び定着支援を推進する。
- ③ さつき会の持続的発展と組織風土の活性化を図るため、経営者と対等な視野・視座・視点を養い、「ケア（サービス）・人材・チーム・財務・情報・地域」をマネジメントできる次世代経営幹部候補の育成を図る。
- ④ さつき会をより良くするために、主体性を持って学習と行動する中核職員を育成するために「さつき会の未来を創るネクストリーダー研修会」を実施する。
- ⑤ プロフェッショナルな介護福祉従事者の安定確保を図るため、介護福祉士・社会福祉士・介護支援専門員等の資格取得及び外国人介護福祉人材の語学力向上を推進する。
- ⑥ 利用者本位の福祉・介護サービスを担う人材を育成するための教育プログラムを階層別く新任職員（入社時研修・フォローアップ研修）、総合職研修、専門職研修、専任職研修、リーダー研修、管理者研修、経営職研修に体系化し、年間計画をもとに定期的な研修を実施する。
- ⑦ 定期面談において部下が考える不安や悩みを聞き、安心して働けるようサポートする。また、部下が考える目標、上司が期待する目標を相互に確認した上で、その期の個人目標を設定し、部下・上司ともに成長の機会とする。令和 6 年度は、一般職 2 級を除く常勤全職員が実施する。

- ⑧ 対人援助による感情労働の職種が多い事業特性を踏まえて、メンタルヘルス研修の実施、有給休暇・リフレッシュ休暇の取得推進を通じて、安心と希望を持ち長く働ける職場環境の整備を図る。
- ⑨ 「介護職員等処遇改善支援補助金（令和6年4月～5月）」及び「新・介護職員等処遇改善加算（令和6年6月以降）」を活用し、職員に対して処遇改善を図るとともに、キャリアパスと給与制度の見直しに着手する。

(2) 介護ロボット・ICT・ノーリフティングケア等の活用と業務の可視化による職場環境改善

- ① 介護ロボット・ICT・ノーリフティングケア等の先進施設見学、導入・試用・活用を通じて、転倒・転落リスクの減少、職員の腰痛予防対策など、利用者と職員ともに安全・安心なケアを提供する。
- ② 介護従事者の事務・記録作業の軽減・科学的介護の推進・職員間のコミュニケーション活性化・介護従事者の魅力の向上を図るために新介護情報システムを活用し、業務の合理化・効率化を推進する。
- ③ 有限の職員体制においてサービスの質の維持・向上を図るために、全ての職員が「仕事の見える化」（業務の可視化）を行い、業務の効率化と改善の基礎資料を作成する。

(3) 地域住民を巻き込んだ利用者の安全・健康・生きがいづくりと良質高度なチームケア（サービス）の提供

- ① 施設が平常時から災害時まで、安心・快適に暮らせる場となるために、施設設備や環境のプライバシー・快適性・安全性・居住性を十分配慮し、定期的なチェックとメンテナンスを遂行する。さらに、災害・感染症の業務継続計画（BCP）に基づき、災害時に必要な能力を身につけられる研修を全ての事業所・部署において実施する。
- ② 施設のマンパワーだけで利用者の暮らしを豊かにする、災害時の安全を守ることは困難を要するため、地域住民やボランティアを利用者のQOL向上（生活の質向上）を図るための「協力者」として、更なる意見・協力を得て共に活動する。
- ③ デイサービスセンターにおいて、利用者の心身機能の維持・向上を図るため、新たにレッドコードを導入・設置し、リハビリテーションの機能拡充を推進する。
- ④ ケアの仕事の原点は、利用者の笑顔と元気が見られることである。短時間でも効果のあるアクティビティを取り入れ、利用者と職員が

ともに笑顔になれる時間を意図的・計画的につくり、それらをケアの仕事で得られる魅力として、アクティビティ委員会・若手職員等が中心となりながらSNSを活用し定期的に発信する。

- ⑤ 施設・在宅部門において、トータルケアシステム（多職種協同による重度化対応・重症化介護予防の仕組み）を運用し、最適化したケアの提供と重症化予防に務め、できるだけ最期まで鷹栖町内で穏やかで笑顔のある暮らしを支援する。
- ⑥ 全ての介護職・看護職・医療職は、高齢者ケアに関わる基礎原理と最新理論を学習・共有し、科学的裏付けに基づいたケアを実践する。
- ⑦ 自立度の高い方から嚥下・摂食障害のある方まで、「より美味しく、より安全に食べること」を実現するため、介護・看護・栄養・調理員、委託業者が一体的になり食事サービスの質向上を図るとともに、適正な予算の下に給食サービス業務が行われるよう業務の効率化・省人化を図る。
- ⑧ 鷹栖町内で高齢者介護に関わる情報と知識・技術を一番持っている強みを生かし、職員が地域へ出向き介護講座やサロン（地域の茶の間）の開催や、地域の集会などへ積極的に参加することで地域との交流を図る。その活動により地域住民に「高齢期における健康・介護リスクと予防法」についての理解を深めていただくと共に、職員自身が地域を知り地域を学び安心できる地域づくりの貢献を図る。
- ⑨ 今後、特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑が、さらなる安全性・快適性と施設機能の向上を図るとともに、法人が健全かつ安定した経営を維持していくために必要となる改築・増床等の基本構想の策定に着手する。

(4) 適正利益の確保と内部統制の強化

- ① 居宅・通所・訪問・小規模・短期入所の在宅サービスは、需要増が見込まれる事業である。団塊世代のニーズを満たす魅力ある事業所づくりと新規利用者獲得のための町内外の地域機関・医療機関への営業・PR活動を拡充し、利用者数の増加と稼働率向上を図る。
- ② 光熱水費・食材料費・オムツ代などの仕入価格の上昇が加速し、介護保険制度創設以来の最大の事務費・事業費（経費率26.7%）となっている。消耗品の低価格への切り替え、まとめ買いでの割引交渉、節電の徹底などアイデアを出し合い経費削減を図る。
- ③ 部門間の人事異動及び課内の配置転換（ジョブローテーション）を積極的に実施し、職員の能力開発・部門間の連携推進と業務の属人

化防止を図る。

- ④ 各事業所に部門計画・活動計画の達成と適正収支差額（事業活動収支差額10%）を確保するために、各課長が予算管理（①計画と編成、②予算に基づく執行、③予算・実績の差異分析と評価、④改善活動への提案と実行）を実施する。
- ⑤ 全事業所において収益向上、及び収支改善を図り、法人全体の事業活動収入（委託費・補助金・雑収入除く）の10%を事業活動収支差額 72,690千円 に掲げ、その運営管理（マネジメント）をつかさどる月次業績検討会議の活性化を図る。
- ⑥ サービス需要及び業績に見合った要員計画を検討し、職員の適正配置、事業運営の効率化等を図ることにより安定した経営基盤の構築に取り組む。
- ⑦ 社会福祉法人は、公益性の高い法人であり法令遵守、不正防止、組織統治、業務の効率化が要求されている。「人に仕事がつくのではなく、仕事に人がつくようになる」ために、ルール（マニュアル、手順書、チェックリスト）を整備し、業務の標準化を図る。
- ⑧ いかなる環境下においても、全ての事業所において「良いケア・良い職場・良い経営」の実現を図り維持するため、その羅針盤となる第6次中期経営3か年計画の推進に努める。

3 計数計画（事業活動収入）

単位：千円

事業所	令和5年度 当初予算	令和6年度 当初予算	差異	予算上の 積算根拠	業績管理上の 目標値
法人本部	7,473	6,973	-500		
特養ホーム鷹栖さつき苑	222,285	230,147	7,862	稼働率96%	稼働率98%
ショートステイ	32,622	33,941	1,319	稼働率85%	稼働率90%
デイセンターさつき苑	61,847	65,498	3,651	1日平均24.5名	1日平均25.5名
介護センター	27,776	32,861	5,085	利用者平均215名	利用者平均220名
GHなごみの家	86,530	90,334	3,804	稼働率97%	稼働率98%
SHなごみの家	64,047	66,431	2,384	登録者平均22名	登録者平均24名
特養ホームぬくもりの家えん	105,778	107,391	1,613	稼働率97%	稼働率98%
SHぬくもりの家えん	66,193	60,577	-5,616	登録者平均23名	登録者平均24名
サービス付き高齢者向け住宅 ぬくもりの家たかほ	29,721	30,239	518	稼働率97% (17.5名)	稼働率98% (17.6名)
ヘルパーステーション	39,431	36,008	-3,423	月間訪問830件	月間訪問930件
地域介護予防活動支援事業	4,509	4,680	171		
地域リハビリテーション活動支援事業	1,491	1,458	-33		
介護予防普及啓発事業	4,195	4,358	163		
認知症総合支援事業	148	370	222		
地域交流スペース運営事業	240	293	53		
在宅医療・介護連携推進事業		22	22		
合計	754,286	771,583	17,296		

4 第6次中期経営業績計画

事業所名	6次計画	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
	5次実績	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度
特養ホームさつき苑稼働率	6次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	5次実績	94.6%	97.4%	98.5%
ショートステイ稼働率	6次計画	95.0%	95.0%	95.0%
	5次実績	80.8%	90.2%	82.9%
デイセンター1日平均利用者	6次計画	25人	26人	27人
	5次実績	22.9人	23.9人	22.6人
介護センター年間平均利用者実人数	6次計画	187人	190人	193人
	5次実績	138人	170人	182人
グループホーム稼働率	6次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	5次実績	98.3%	98.5%	97.2%
小規模多機能なごみの家 年間平均登録者人数	6次計画	24人	24人	24人
	5次実績	21.8人	22.7人	24.3人
特養ホームぬくもりの家えん稼働率	6次計画	98.0%	98.0%	98.0%
	5次実績	97.0%	99.4%	97.8%
小規模多機能ぬくもりの家えん 年間平均登録者人数	6次計画	24人	24人	24人
	5次実績	24.3人	23.5人	24.9人
サービス付き高齢者向け住宅稼働率	6次計画	94.0%	94.0%	94.0%
	5次実績	98.6%	94.9%	98.0%
ヘルパーステーション 月間延べ訪問回数	6次計画	910回	920回	930回
	5次実績	839回	909回	874回

5 組織機構

別紙1「組織機構図」のとおり

6 要員計画

期首人員 153名（正職94名、パート59名）

期末人員 163名（正職96名、パート67名）

（1）新規学卒者（高校）の介護職員を1名採用（補充）する。

（2）特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑の看護職員補充のため、令和6年5月1日付けで、常勤看護職員1名を採用する。

(3) 居宅介護支援事業所の機能強化のため、令和6年6月1日付で、居宅ケアマネ1名を採用(増員)する。

(4) 職員一人ひとりの成長と顕在化していない能力の発現を期待して、積極的に事業所間の異動・研修交流を進める。

(5) 法人全体の目標離職率を5%以下とする。

7 部門別事業計画書

別紙2「事業計画書(部門計画)」のとおり

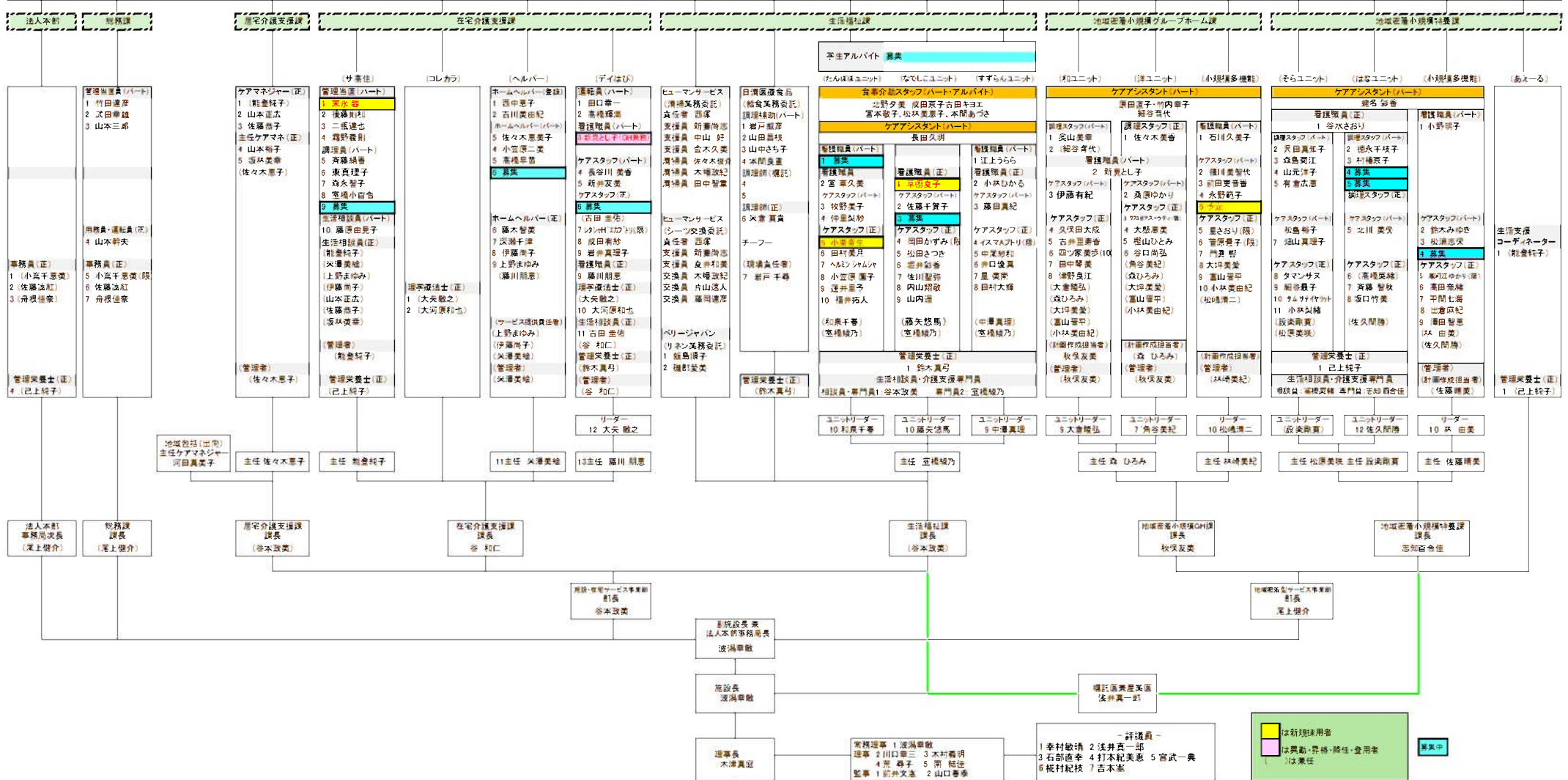
8 年間行事・研修予定・ブログ当番表

別紙3「令和6年度 行事・研修予定表」「令和6年度 ブログ当番表」のとおり

9 収支予算書

別紙4「資金収支予算書(当初)」「事業活動計算書(当初)」のとおり

『自立した尊厳ある人間らしい生活を保障されるべき高齢者』



【法人の経営理念】
「私たちは、社会福祉事業を通して地域社会・住民にとってなくてはならない存在であり続ける。」
【法人の使命】
「高齢者の自立した尊厳ある、人間らしい生活を守る」
【法人のビジョン】
「自分が入りたいと思える施設をつくる」
「自分が住みたいと思える地域をつくる」
「自分と仲間が働きやすく働きがいのある職場をつくる」
【法人の介護理念】
一人人間として
一人ひとりをかけがえのない人間として大切にします
一人当事者主体(その人の人生や生活の主体は、相手にあることを大切にします)
一人利用者本位(常に相手の身になり、相手の立場に立って考え行動することを大切にします)
【社是】
自立(自律) 信頼 創造

事業所名(部署)	法人本部
----------	------

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 職員の成長を実感できる研修の運営。
- (2) 外国人スタッフが安心して地域に住み働くことができる環境をつくる。
- (3) 働きやすく、魅力ある職場づくりと多様なリクルート活動の展開。
- (4) 介護ロボット・ICTの活用により介護の質の向上と生産性の向上。
- (5) 非常災害時でも事業を継続的に運営できる計画と体制づくり。
- (6) 制度・法令に基づく法人運営

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	職員の成長とレベルアップを図るための研修計画の実施と資格の一元管理。	①社内研修の計画・実施・管理。 ②基礎介護力向上研修の振り返りと内容の見直し。 ③人材育成システムを活用した職員研修・資格管理。 <u>(人材育成システム、旧給与システムのソフト更新)</u>	継続	尾上	①③本部 ②基礎介護力向上委員会委員
2	(2)	外国人人材の受入れ及び定着を支援する。	①外国人スタッフの日常生活と仕事をサポートするための外国人サポートチーム(B-Pro)の運営。 ②外国人介護人材育成支援協議会への参加。 ③介護福祉士試験サポート。 ④技能実習生の受入・安心サポート <u>(R7年度採用にむけた準備)</u> 。 ⑤ <u>外国人受入れ・定着に関する情報収集</u> 。	継続	尾上	本部 B-proメンバー
3	(3)	リクルート・広報活動の充実・推進。	①SNS(LINE、ブログ、FB)の運用・管理と。 ②ホームページの運用・リニューアル。 ③多様な求人活動の展開・実施(オンライン就職説明会の開催、 <u>インターンシップの受入れの仕組みをつくる</u> 、オリジナルグッズ製作など)。 ④ <u>適正人員の確保、そのための情報収集と関連研修への参加</u> 。	①②④継続 ③新規	尾上	本部職員
4	(3)	働きやすい職場づくりと法人のブランディング戦略推進。	①働きやすい職場づくりと法人のブランディング戦略の推進(自法人の強みや特性を可視化し、認定資格の取得により企業価値を高める) <u>くるみん、えるほし認定の取得</u> 。 ②福利厚生(ソウエルクラブ)の活用促進。 ③定期面談制度の実施。 ④よいあいさつ運動の実施。	継続	①③尾上 ②小寫 ④佐藤涼	本部職員

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
5	(4)	介護ロボット・ICTの推進により業務の効率化と生産性の向上。	①介護情報システムの効果的な活用。 ②最新のICT機器の情報収集と導入と活用促進、効果検証。 ③スタッフのデジタルリテラシーの向上(活用促進のためのわかりやすいマニュアル作り)。 ④LINEWORKSの運用・管理。 ⑤パソコン・ネットワークの管理・更新。	継続	尾上 ⑤小嶋	各管理者 Iproメンバー
6	(5)	災害・感染症の業務継続計画(BCP)の更新と研修の実施。	①BCPの随時見直し・更新。 ②災害・感染症の業務継続計画(BCP)の策定し計画に基づいた研修を実施する。	新規	尾上	各課長 総務課
7	(6)	関係法令の遵守と社内規程等の整備・更新	①制度改正の情報収集(社労士・税理士との情報交換、研修会の参加)。 ②介護報酬改定に伴う事務の推進。 ③収集した情報を元に内部検討・立案。 ④職員へわかりやすい周知・運用。	新規	尾上	各課長 総務課

事業所名(部署)	総務課
----------	-----

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 笑顔とやさしさ・思いやりのある心のもった窓口対応に努めます。
- (2) チームワークとICT活用等を通じて、総務サービスの質向上に努めます。
- (3) 利用者本位の生活空間の提供に努めます。
- (4) 働きやすい職場環境づくりに努めます。

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	接遇と施設環境の整備向上	①おもてなしの心を表すため、接遇対応の向上を図る。 <u>(接遇研修の継続)</u> ②毎週実施している、特養さつき苑正而玄関及び大ホールの清掃並びに環境整備を継続して行う。	継続	舟根	全職員
2	(2)(3)	災害対策・感染症対策の推進	①防災用品・備蓄品・災害機器の完備及び各種災害訓練(非常連絡網確認訓練含 各拠点年2回)の実施する。 ②地域住民・行政等との連携による、実効性のある災害対策の組織構築を行う。 ③感染症対応事務の推進及び感染症対策物品の確保・整備を図る。 ④BCPに基づいた非常時の訓練を実施する。	継続	課長	物品:小高 防災機器: 山本
3	(2)(4)	仕事の見える化・ <u>効率化</u> の推進	①朝会及び課内定例会議により、課員の業務スケジュールを確認し、効率的・安定的な業務の推進を図る。 ②各事務担当職員不在時においても、業務を推進できるように必要なマニュアル(ボランティア受け入れマニュアル、利用料金受領マニュアル、労務管理事務マニュアル等)を整備・活用し、事務処理方法の標準化と効率化を図る。 ③業務分担を変更し、主査・副主査制を取り入れ、課員全体で本部・総務課事務を推進できる体制を確立する。 ④事務機器・ICTを最大限活用し、業務の効率化・合理化を図る。 <u>(FICシステムの利用、ほのぼの預かり金機能の活用、勤怠管理システムなどの活用、導入調査、給与明細のペーパーレス化の検討)</u>	継続	課長	全職員

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
4	(1)(4)	働きやすい職場づくりの推進	<p>①有給休暇の計画な取得を推進する。(リフレッシュ休暇の積極的取得(連続休暇取得)、年間最低7日間)。</p> <p>②衛生委員会を定期開催し、職場環境の向上を図る。</p> <p>③職場環境改善(施設・設備・車両・備品類の日常的な点検・整備等)を行う。</p> <p>④各施設・事業所の物品この整理・整頓を推進する(備品台帳に基づく現品確認を実施する)。</p> <p>⑤大ホールの職員休憩スペースの環境改善・向上。</p>	継続	①②課長 ③山本 ④⑤舟根	全職員
5	(2)	会計事務の適正処理	<p>①経理規程に基づき、適正な事務処理を行う。</p> <p>②各事業所の予算管理を適正に推進するため、担当課長との連携を強化する。</p> <p>③物品購入事務処理等会計処理の統一化を推進する。</p> <p>④前年度・前月との経費対比情報を提供し、各事業所の経費削減を支援する。</p> <p>⑤効率的な会計事務について提案・実行を図る(例 ネット購入、クレジット払いの拡大等)。</p>	継続	舟根	佐藤凜
6	(4)	職員全体研修の実施	<p>①職員全体研修を体系化し、計画に基づき確実に実施する。(交通安全研修・メンタルヘルス研修・接遇研修・職員育成研修等)。</p>	継続	課長	小島
7	(1)(2)(4)	職員の資質向上のため研修受講・資格取得並びに課内会議・課内研修の定期開催	<p>①積極的に外部研修・他施設実地研修を受講し、受講職員による伝達研修を行い、総務事務の改善を図る。</p> <p>②積極的に業務に関連する資格を取得する(資格に関する情報を得る)。</p> <p>③定期的(月1回)に課内会議を開催し、課員内で積極的に情報交換を図り、総務事務の推進を図る。</p> <p>④定期的に課内研修(総務課の仕事の目的・目標の共有、チームワークの向上、伝達研修など)を開催する。</p>	継続	課長	課長

事業所名(部署)	特別養護老人ホーム 鷹栖さつき苑
----------	------------------

<p>1. 基本方針 『よいケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。 (2) スタッフの専門性の向上を図るため、その方にかかわる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアサービスを展開できるよう育成する。 (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。 (4) ご入居者の活き活きたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切にし、積極的に交流の機会をもつ。 (5) 新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。 (6) 業務の効率化と業務マニュアルの整備。 (7) 適正利益の確保と安定した運営。</p>

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。	<p>①ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。 ②多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。(目標:排せつ加算、褥瘡マネジメント加算、口腔衛生管理加算を積算する) ③多職種によるカンファレンスを速やかに開催し根拠に基づいた要因分析と対応策をたてケアを実践。(目標:年間入院日数250日以内) ④リハビリテーション、機能訓練、口腔ケア、栄養を一体的に行い、重度化の予防を行う。 ⑤重度化、緊急時対応のため、医療との連携を強め穏やかに活が最期まで生活が継続できるように努める。</p>	継続	課長	主任
2	(1)	尊厳を守り、痛みや苦しみを緩和し、個々に合わせた、より良質なケアサービスを提供。	<p>①下剤服用による苦痛、認知症の周辺症状の悪化を予防するため下剤使用の見直しを継続し、自然排泄のための補助療法等を多職種で実施し、画一的な下剤の使用をしない。 ②向精神薬、眠剤、その他の薬剤について、薬剤の特性を理解し、通常期待される効果が認められていない、<u>長期服用での状態変化</u>または、副作用が強く出ている場合など、本人の状態を踏まえたうえで医師と相談、見直しを図る。 ③誤嚥性肺炎を起こさないよう食事方法の見直しと口腔ケアの研修や<u>歯科衛生士の助言を受けケアの向上を図る</u>。また、本人の痛みや苦しみを緩和するために、<u>喀痰吸引が少なくなるようなケア方法を実施する</u>。 ④尊厳ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直します。尿失禁のある方に対し、排せつのタイミングを把握し、できる限りトイレでの排泄を実践する。 ⑤ポジショニング用品の見直しと<u>研修を実施し</u>、拘縮と褥瘡を防ぐ。 ⑥認知症のBPSD発現を未然に防ぐ、又は、<u>早期対応するために、実務者研修の参加と認知症のカンファレンスシートを使用しタイプに適したケアの向上を図るためチームケアを行う。</u></p>	継続 新規	看護師 主任	栄養士 リーダー

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
3	(2)	自立支援を視点におき、生き活きと暮らせる生活と環境を創る。	<ul style="list-style-type: none"> ①担当スタッフが入居者個別に課題分析、計画の立案、目標に向けたケア(介護過程)を展開しQOL及びADLの向上を目指す。 ②残存機能を活かし役割を持っていただくことで生き活きとした暮らしを提供します。 ③アクティビティ(個別での外出、季節行事、レクリエーション活動、散歩など)を行い、スタッフも一緒に楽しめるイベントを計画的に実施する。 ④施設内環境の<u>整理・整頓・清潔</u>を徹底し、また季節感を感じられる潤いある環境をつくることで、ご利用者が安心して落ち着いて暮らせる環境をつくる。 	継続	リーダー	主任
4	(3)	口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ①季節感や嗜好、食感食を通し食事から生活の質の向上を図る。 ②食器へ配慮し、見た目から食事を楽しめる食事の提供。 ③味も見た日にもおいしいソフト食の提供。 ④健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事) 	継続	栄養士	主任
5	(3)	入居者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践する。	<ul style="list-style-type: none"> ①毎月の体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。 ②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通じたアプローチを提案・実施。 ③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。 ④食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う(補助食品の見直し、食形態の見直し、嗜好品の取り入れ) ⑤<u>超高齢期、ターミナル期の食事のあり方を検討し、画一的ではなくその人に合わせた食事提供を行う。</u> 	継続 新規	栄養士	主任
6	(3)	給食委託業者との連携強化。	<ul style="list-style-type: none"> ①衛生管理及び給食設備を定期的に確認し、食中毒の予防。 ②委託業者との情報交換、協力体制を密にするため、毎日のミーティングと月1回の給食運営会議を実施。 ③よりおいしい食事の提供をめざし、新たな食材の導入の検討と厨房の業務(調理行程など)の効率化。 ④委託契約額の適正化。 	継続	栄養士	主任 課長
7	(5)	スタッフ個々の基礎介護力と実践力の向上。	<ul style="list-style-type: none"> ①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。 ②学んだ知識を日常のケアで実践できる力を付ける。 	継続	課長	主任
8	(4)	ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ①<u>家族と交流できる行事の再開。</u> ②<u>家族・地域へ情報発信し、連携を高めていく。</u> 	継続	各担当	リーダー

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
10	(5)	チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、 <u>適切な人材の確保を目指す。</u>	①有給休暇(9連休または2回に分けて)の計画的付与を継続。 ②各職員の役割を明確にし、自ら考え、責任を持って行動する。互いのことを思いやり協力する職員集団となる。 ③実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。実習指導者研修の受講(1名) ④外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する(法人企画B-proの参画2名) ⑤技能実習生・外国人職員の介護能力と語学力向上を積極的に行う(介護福祉士合格)	継続 新規	課長	主任
11	(6)	業務の効率化とマニュアルの整備。	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④ICT、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続 新規	課長	主任
12	(7)	適正利益の確保と安定した運営。	①入院者数の減少、入退居の迅速な手続きにより空床を減らし稼働率の維持、向上を目指す。(目標年間稼働率98%以上、入退居時の空床日数平均7日間以内) ②排泄ケア加算、褥瘡ケア加算等、ターミナルケア加算、口腔衛生管理加算を評価、実践し取得する。 ③目標事業活動収入: <u>227,934,867円</u>	継続	課長	主任

事業所名(部署)	鷹栖町ショートステイ さつき苑
----------	-----------------

<p>1. 基本方針</p> <p>『よいケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。 (2) スタッフの専門性の向上を図るため、その方にかかわる情報を集め、求められるニーズからケア目標を立案し、根拠に基づいたケアサービスを展開できるよう育成する。 (3) 口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供する。 (4) 利用者の生き生きしたくらしづくりと、ご家族や地域とのつながりを大切に、積極的に交流の機会をもつ。 (5) 新規採用職員(特に外国人)が定着し、地域とともに働きがいと魅力ある職場環境をつくる。 (6) 業務の効率化と業務マニュアルの整備。 (7) 適正利益の確保と安定した運営。</p>

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づいたケアサービスの提供と、多職種協働でトータルケア(総合的視点による予防的ケア)を実践。	<p>①ケアチェックと多職種協働によるトータルケアを実践し病気の重症化や再発を予防と業務の効率化を図る。</p> <p>②多職種で排せつ、食事の関係をしっかりと把握し、褥瘡や体調不良を要因分析と対応を強化し、症状の重症化を予防に努める。(目標:排せつ加算、褥瘡マネジメント加算、口腔衛生管理加算を積算する)</p> <p>③多職種によるカンファレンスを速やかに開催し根拠に基づいた要因分析と対応策をたてケアを実践。</p> <p>④リハビリテーション、機能訓練、口腔ケア、栄養を一体的に行い、重度化の予防を行う。</p> <p>⑤重度化、緊急時対応のため、医療との連携を強め穏やかに活が最期まで生活が継続できるように努める。</p>	継続	課長	主任
2	(1)	尊厳を守り、痛みや苦しみを緩和し、個々に合わせた、より良質なケアサービスを提供。	<p>①病状やADL状況をしっかりと把握し、本人、家族、ケアマネージャー等と多職種連携を図り健康管理を実践。</p> <p>②尊厳ある排泄をめざしその方に合わせた排泄方法、オムツ形態を見直しします。また、尿失禁のある方に対し、排せつのタイミングを把握し、できる限り在宅で生活できるように支援する。</p>	継続	看護師	主任
3	(2)	自立支援を視点におき、生き生きと暮らせる生活と環境を創る。	<p>①在宅生活継続の課題を明確にし、短期入所の中で在宅生活を踏まえた自立支援を実践した行く。</p> <p>②デイサービスとの連携を図り、逆デイサービスを再開する。</p> <p>③長期利用者に対しても、積極的に在宅に戻れないかを検討し、家族を含めカンファレンスを実施していく。</p> <p>④医療連携を図りながら、終末期の受入も実践していく。</p> <p>⑤退院後、自宅に戻るまでの機能回復と生活不安を取り除くために評価する利用を受け入れる。</p>	新規	リーダー	主任

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
4	(3)	口から食べ続けられることにこだわり、安全に、美味しく、楽しめる食事を提供。	①健康を維持できる食事の提供を強化する。(便秘解消、免疫力強化、各既往症に適した食事) ②本人、家族が自宅で健康管理できる食事、栄養の支援を行う。	新規・継続	栄養士	主任
5	(3)	利用者の健康の維持・向上のための栄養ケアを実践。	①体重の増減を確認し、改善策を都度リーダーに提案・実施。 ②食事量、水分量、排泄状況のケアを毎週行い、食を通じたアプローチを提案・実施。 ③排泄困難者に対して、食を通して個々に合わせたアプローチする。 ④食事量低下時における対応を柔軟に行い、食事量を戻す取り組みを行う	継続	栄養士	主任
6	(4)	安心して生活できる施設づくり。	①事故に対する危険予測の意識を高めるための研修会を開催するほか、ヒヤリハットと過去の事故事例をユニット会議内において継続的に周知し予防意識を啓発します。(目標:事故件数、前年度より、 10%減少 、骨折事故ゼロ、服薬に関する事故ゼロを目指す。) ②高齢者虐待や身体拘束予防の研修会の実施のほか、毎月のユニット会議において身体拘束(及び不適切なケア)を議題を委員会 ^で 検討し全職員で共有する。(目標:身体拘束と虐待及び不適切なケア 0件) ③医師及び感染症対策委員会と連携しながら、食中毒、ノロウイルス、インフルエンザ、コロナウイルス等を予防する。 (目標:集団感染を防ぐ) ④認知症への理解と周辺症状対応力を向上する(認知症実践者研修受講1名) ⑤初回利用時にアンケートを実施し、快適な利用ができるようサービスの向上を図る。	新規・継続	主任	各スタッフ
7	(5)	安心して生活できる施設づくり	①全職種、全職員を対象とした研修を継続実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性と実践力の向上を図る。 ②学んだ知識を日常のケアで実践できる力を付ける。	継続	課長	主任
8	(6)	業務の効率化とマニュアルの整備。	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④ICT、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続	課長	主任
9	(5)	チームワークの向上と働きがいと魅力ある職場環境をつくり、適切な人材の確保を目指す。	①有給休暇(9連休または2回に分けて)の計画的付与を継続。 ②各職員の役割を明確にし、自ら考え、責任を持って行動する。互いのことを思いやり協力する職員集団となる。 ③実習生の積極的受入を図り、介護の魅力を伝えて行く。実習指導者研修の受講(1名) ④外国人採用職員が職場に慣れ、職場や地域で楽しく生活できるように支援する(法人企画B-proの参加2名)	継続	課長	主任
10	(6)	業務の効率化とマニュアルの整備。	①現在担当となっている業務をマニュアル化し整理する。 ②記録のIT化によって生じた時間を有効に活用していく。 ③物品の配置と個数を整理し、整理整頓され効率性のある環境をつくる。 ④ICT、介護ロボットを導入し、介護負担の軽減を更に図っていく。	継続	課長	主任

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
11	(7)	適正利益の確保と安定した運営。	①新規利用者、ショートステイ利用の満足度を向上させ稼働率を向上させます。また、安心してご利用いただくため、感染症予防対策を徹底します。 <u>(目標年間稼働率:90%)</u> ② <u>目標事業活動収入: 33,699,675円</u>	継続	課長	主任

事業所名(部署)	鷹栖町デイサービスセンター はびねす
----------	--------------------

<p>1. 基本方針</p> <p>『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) デイセンターが「こころとからだ元気になる場」を合い言葉に、利用者が選択できる多種多様なサービスを役割・立場を超えて提供する。</p> <p>(2) 介護予防から中重度者へ「良いケア」が提供できる様に、職員の情報共有の場を設け早期発見、早期対応に努める。</p> <p>(3) 「良いケアをするために、良い職場をつくる」を合い言葉に、チーム一丸となり働きやすく・やりがいのある職場環境をつくります。</p> <p>(4) 「良いケア」を合い言葉に、月平均実利用者数96名、日平均利用者数24.5名を目標に、適正利益の確保と無駄を省くことに努めます。</p>

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	魅力あるデイサービス充実したアクティビティ	・常に事業所内が清潔感に包まれ、利用者にとって心地よい居場所と空間を整える。	継続	大矢	谷
			・デイ活動室(E型)の環境整備を行い、クラフトルームとカフェルームの設置を行う。	新規	谷	大矢/古田
			・裏庭での畑作業、ガーデン整備の実施。	新規	レタシヤ	長谷川/谷
			・魅力ある製作レクリエーション(ハンドメイド)、楽しめるレクリエーション、外出行事の実施。	継続	岩井	大矢/新井
			・馴染みの仲間とのおいしい食事の場を提供する。	継続	成田	藤川
2	(1)	自立支援・リハビリプログラムの構築	・理学療法士によるマシントレーニング及び非マシンによるトレーニングを提供し、リハビリテーションプログラムの実施。リハビリメニューの拡充とプログラムの実施。	継続	大矢	大河原
			・マシントレーニングの記録、評価を行い適切な運動プログラムの提供。フィードバックを行い、利用者の運動へのモチベーションアップを図る。	継続	大矢	大河原

3	(1)	地域資源の活用	・地域のボランティアとの連携を図り、アクティビティプログラムを充実させる。	継続	谷	大河原
			・地域の活動に積極的に利用者が関わる支援を行う。(老人会会合、子供体験教室、地域サロン活動への参加・訪問)	継続	谷/古田	大河原
4	(2)	介護予防と重度化予防	・総合記録シートを活用しケアチェックを行い、入院リスクの軽減、重度化に対応する。	継続	藤川	谷
			・欠席者の理由を分析評価し、早急に対応する。	継続	藤川	谷/大矢
			・認知症予防のための学習療法のサービス提供の強化を図る。 ・職員が学習療法マスター資格を習得する。	継続	古田	谷
			・利用者の口腔機能低下の早期発見、適切な管理指導を行い口腔機能の低下予防に取り組む。	継続	清水	藤川
5	(2)	安心して利用できる デイサービスづくり	・事故・感染症の予防を行い、安心・安全なデイサービスをつくる。	継続	藤川	清水
			・健康リスクの高い方のカンファレンスを行う。 ・利用者の健康状態の把握を行う。 ・毎日の終了後ミーティングにて迅速な情報交換と対応を行い、健康管理の対応をおこなう。	継続	谷	藤川/大矢
			・救急対応のマニュアルの整備、利用者基本情報の定期更新を実施、緊急時の対応を迅速に行う。	継続	古田	谷
			・感染症予防の研修を定期的に開催し、最新の感染予防・感染対応について学習する。	継続	藤川	清水
6	(2)	ケアスキル 接遇マナー向上	・研修・勉強会・接遇マナーに参加し、ケアスキルの向上、接遇マナーを身につける。認知症介護の基本理念、知識、技術を習得する。	継続	谷	藤川

7	(3),(4)	職員の働きやすさ 働きがい向上と業務改善	・業務改善を定期的に行い、迅速に利用者ニーズに対応する。	継続	谷	藤川/大矢
			・職員自身が生きいきと働けるよう、長期休暇(7連休 有給5休)を計画的に取得する。	継続	谷	藤川/大矢
8	(4)	適正収益の確保	<p>・定期的に居宅・地域包括にデイ活動の周知宣伝を行い、45名の新規利用者の獲得を行う。</p> <p>・適切な利益の確保し、健全な経営ができる様にする。</p> <p>令和6年度 実利用者数 107.0名/月 平均利用者数 24.5名 介護報酬 64,888,693円 (R6当初予算)</p> <p>令和5年度 実利用者数 95.0名/月 平均利用者数 24.0名 介護報酬 61,847,331円 (R5当初予算)</p>	継続	谷	-

事業所名(部署)	介護センターさつき苑
----------	------------

<p>1. 基本方針</p> <p>良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) ケアマネジメントの質の向上</p> <p>(2) 事業所内のケアカンファレンス・会議・勉強会及び外部研修、外部機関とのケア会議を通じて、ケアマネジメントの実践力を向上</p> <p>(3) 地域への貢献を通して、利用者の在宅生活を地域機関・住民と共に支える人的ネットワークを拡充</p> <p>(4) 事業所の運営管理を円滑に実施</p> <p>(5) 適正利益の確保とリフレッシュ休暇の推進</p>
--

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	利用者の課題に対し具体的なケアの方針が立てられるように、在宅版トータルケアシートのシステム活用と多職種連携を強化	①在宅版トータルケアシート導入とケアチェック強化(ケアマネ1人4ケースを目標)ICTの活用による情報連携	継続	山本 正広	佐藤
	(1)	「生き活きはびねすプラン」の策定とケアの提供	①利用者の笑顔や喜びを導き出すため、「生き活きはびねすプラン」を策定し、ケアマネジャー自身が外出支援を実施(1ケース以上)とブログアップ、より良いケアプランを実施するためカスタマイズを検証	継続		
	(1)	栄養・脱水・転倒・環境の予防を図る	①強化月間を設け啓発を実施、猛暑、極寒時の利用者宅の設備確認と予測を立てたマネジメントの提案実施 ②身体機能や日常生活動作、住宅環境の確認の為理学療法士と同行訪問を実施	新規		
	(1)	伝える力、指導力の向上を図る	①実習生の受け入れ(介護支援専門員、社会福祉士等)受け入れ予定人数 (実習Ⅰ)1~2名 (実習Ⅱ)2~6名	継続		

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
2	(2)	専門的知識と技術の向上	①法人内研修(基礎介護力向上等)に参加して知識・技術を習得 ②ケアマネ会議(ケアプラン作成、アセスメント、スーパービジョン、認知症、災害対策、身体拘束・虐待予防、介護保険法、個人情報保護、成年後見制度、感染対策、PPE2回) たかほ会議、地域ケアマネジメント会議、サービス事業者との情報共有(1回/月) ③外部研修(医療連携、多職種連携、アセスメント、ケアマネジメント、スーパービジョン)を1回/月受講し最新の知識・技術を習得 ④主任介護支援専門員法令研修の受講と年2回自己点検用紙にて自主点検、個人目標設定及び評価を実施 ⑤ケアマネジャーの接遇及びケアマネジメントの満足度を把握するため、満足度調査を実施 ⑥サービス向上発表 ⑦利用者の就労や役割等の支援を強化するため行政主催の障害、民生委員等含む合同研修及び近隣居宅との合同研修(年2回)	継続	坂林	山本裕子
	(2)	情報共有及びニーズに応えられるように外部との連携を強化	①1回/月援助員会議・地域ケア会議・社会福祉協議会との活発な情報共有を強化	継続		
3	(3)	地域への貢献	①地域住民に対する講話などにより貢献活動を実施 ②ホームページの更新	継続	山本裕子	坂林
4	(4)	マニュアル作成にて業務分担管理	①利用者管理票と減算チェック ②マニュアル作成 ③各業務のマニュアル化(請求業務・物品発注・書類補充・提供票発送) ④BCPの研修	継続	佐藤	山本正広
5	(5)	適正利益の確保とリフレッシュ休暇の推進	①目標利用者人数(期初215名→期中222名→期末223名:年間平均利用者数220名) 目標新規利用者数102名、目標停止者数60名 ②目標収益:34,067千円(前年度当初予算27,875千円) ③集中減算資料を年2回(3月～8月・9月～2月)作成 ④全職員が5日間リフレッシュ休暇を取得 ⑤利用者動向の入院者の分析と対策検討・周知	継続	佐々木	

事業所名(部署)	多機能型グループホーム鷹栖なごみの家
----------	--------------------

<p>1. 基本方針 『良いケア、良い職場、良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスを提供する (2) 主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する</p>

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	①ケアチェック、根拠に基づきカンファレンスを実施し、中重度化に対応したケアの提供。 ②アセスメントシートの定期更新(ケアプラン更新時)。 ③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ。 ④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う(委員会の開催、年2回研修実施)。 ⑤入所者の栄養状態を把握し、日常的な栄養ケアに係わる介護職員へ技術的助言や指導を実施し、栄養管理体制加算を取得する。 ⑥口腔・栄養スクリーニングを実施し、利用者の栄養状態についての確認し、口腔・栄養スクリーニング加算1を取得する。	継続	①各スタッフ ②各スタッフ ③各スタッフ ④森	角谷 大倉
2	(1)	安全で美味しい食事の提供	①個別に合わせた適切な食事形態の提供。 ②現病の悪化、既往症の再発予防するための治療食の充実化。 ③満足感とQOLの向上を図るため、季節感のある献立、見た目楽しく、おいしい食事の提供の実施。 ④栄養士による季節感のある手作りおやつ提供(年2回実施) ⑤年1回嗜好調査を実施する。	継続	各スタッフ	栄養士
3	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①ケアチェックを強化し、病気の早期発見及び重症化や再発を防ぐ。 ②誤嚥性肺炎による入院者0名。	継続	角谷 大倉	森
4	(1)	食中毒・感染症の予防と非常災害時の対応	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める(集団感染0件)。 ②業務継続計画(BCP)の策定と非常災害訓練の実施。	継続	①各スタッフ ②秋保	①角谷/大倉 ②森
5	(1)	基礎介護力の向上	①法人全体で基礎介護力向上研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る。 ②外部研修の計画・実施。	継続	森	秋保

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
6	(2)	心身機能の維持向上を図る暮らしの充実	①利用者の課題を分析し、計画の立案、目標に向けたケアを展開しADL(QOL)の維持、向上を図る。 ②楽しみや喜びのあるアクティビティの計画・実施。	継続	①各スタッフ ②大懸/栗山 津野/古井	①角谷/大倉 ②各スタッフ
7	(3)	働きやすい職場づくり	①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する。 ②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化。 ③退職者を減らし、安定した運営に取り組む(退職者0を目指す)。 ④ICT、IoTの活用を通じてケアの質向上及び職場環境の改善(介護負担軽減、業務効率化)を図る。	継続	①角谷/大倉 ②秋保/森 ③秋保/森 ④大倉	森 秋保
8	(3)	チームワークの向上	①互いのユニットを常に補うことができるよう、ユニット固定の勤務を解消する(常勤のみ)。 ②週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする。 ③職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む(サービス向上発表会等での発表)。	継続	①各スタッフ ②各スタッフ ③大懸/四ツ家	角谷 大倉 森
9	(4)	業務の効率化	①業務の見直しを行い業務分担を明確にし見える化する。 ②従来のマニュアルの見直しと整理。	継続	①角谷/大倉 ②谷口	森 秋保
10	(4)	適正利益の確保	①ケアの質向上により入院者数を減少させ、目標稼働率98%を達成する(目標介護保険事業収入:90,259,402円)。 ②光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める(前年度より-3%)。 ③給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施。	継続	①角谷/大倉 ②田中/ワフユ	森 秋保

事業所名(部署)

小規模多機能ホーム鷹栖なごみの家

令和6年度

1. 基本方針

『良いケア、良い職場、良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 知識・技術の専門性の向上を図り安全で根拠に基づく介護サービスを提供する
- (2) 主体性をもって介護過程を展開し利用者の満足度を高める
- (3) 職員のチームワークが向上しやりがいと働きがいのある職場をつくる
- (4) 業務の標準化・見える化・効率化を図り、適正利益を確保する

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	ケアの質の向上と安全で根拠に基づくサービスの提供	①アセスメントシートの整理と定期的なデータ更新。 ②ダブルチェック、ケースカンファレンスを定期的に行い統一したケアを実施する。 ③安全で予防的なケアに努め事故及び事故の再発を防ぐ。 ④身体拘束及び虐待防止の取り組みを継続して行う。(委員会の立ち上げ、年2回研修実施) ⑤口腔・栄養スクリーニングを実施し、利用者の栄養状態についての確認し、口腔・栄養スクリーニング加算1を取得する。	継続	松嶋	林崎
2	(1)	安全で美味しい楽しみのある食事の提供	①個別に合わせた適切な食事形態を提供する。 ②利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事・行事食を計画し実施する。 ③栄養士による季節感のある手作りおやつ提供(年2回実施) ④年1回嗜好調査を実施する。	継続	林崎	已上栄養士
3	(1)	食中毒・感染症の予防	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウイルス、ノロウイルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。(集団感染0件) ②非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。	継続	① 石川 ② 林崎	秋保
4	(1)	疾病の管理と医療的ケアの充実	①ケアチェックを強化し、病気の発症及び重症化を防ぐ。早めの受診、医療と介護連携により、入院での利用休止を増やさない。受診対応のできない家族への支援強化。 ②在宅生活を継続できるよう、ケアマネジメントの強化。(訪問サービスの提供で在宅での健康管理を強化し、介護者の介護力を見極め必要な支援・援助を行う) ③主治医・かかりつけ医との医療連携の強化を図る。	継続	① 石川 ② 松嶋 ③ 松嶋	林崎
5	(1)	基礎介護力の向上	①法人全体で基礎介護力向上研修を実施し、より実践的な知識、技術を身につけ専門性の向上を図る。 ②外部研修の計画・実施。 ③利用者の課題を分析し、目標に向けたケアを展開し、ADLの維持・向上を図る。(介護過程の展開)	継続	林崎	松嶋

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
6	(2)	アクティビティの充実	①楽しみ・喜び・やりがいのある、そして年齢層に合わせたアクティビティを計画・実施する。 (団塊の世代のニーズに応えられるようタブレット、ゲーム等の準備) ②学習療法をより多くの方に参加していただくために、定期的に利用者・ご家族へPRをおこなう。定期的に学習 診断を行い評価を行う。 ③地域住民との交流、外出行事の拡大。	継続	①大坪 ②松嶋 ③松嶋 ④大坪	松嶋
7	(2)	環境を改善し過ごしやすい生活環境を作る	①施設内の装飾品や植物を適切に管理し潤いある生活空間を作る。	継続	小林 富山	松嶋
8	(3)	働きやすい職場づくり	①不安を取り除き、上司・部下が心を通い合わせるために、定期的に職員面談を実施する。 ②リフレッシュ8連休の実施と有給休暇の計画的消化。 ③退職者を減らし、安定した運営に取り組む。(退職者0を目指す) ④ICT、IoTの活用を通じてケアの質向上及び職場環境の改善(介護負担軽減、業務効率化)を図る。	継続	① 松嶋 ② 松嶋 ③ 松嶋 ④ 松嶋	林崎
9	(3)	チームワークの向上	①週目標を継続し、具体的な目標を意識して思いを一つにする。 ②職員が楽しみ・やりがいを見つけ出し、達成感を感じられるよう一年間チームでの目標を決め取り組む。 (サービス向上発表会等での発表)	継続	松嶋 富山	林崎
10	(4)	業務の効率化	①業務の見直しを行い業務分担を明確にし見える化する。 ②従来のマニュアルの見直しと整理。 ③訪問サービス(安否確認・生活援助・家事援助)愛び・すけっととの連携。	継続	①小林 ②松嶋 ③林崎	林崎 秋保
11	(4)	適正利益の確保	①登録人数の維持。(登録者平均24名) ②目標介護保険事業収入66,431,275円。(前期:64,046,809円) ③ダブルチェックの徹底と予防的なケアに努め、長期入院、施設入居を増やさない。 ④光熱費に対してのコスト意識を高め、節約に努める。(前年度より-3%) ⑤給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施。	継続	林崎	松嶋

事業所名(部署)	地域密着型特別養護老人ホーム めくもりの家えん
----------	-------------------------

<p>1. 基本方針</p> <p>『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 多職種共同で ケアを提供し、健康で豊かな暮らしをつくる。</p> <p>(2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。</p> <p>(3) 自主性・主体性を持って介護過程を展開し利用者の満足度を高める。</p> <p>(4) チームワークの向上とICTの活用を通じて職場環境の改善を図る。</p> <p>(5) 適正利益の確保。</p>

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	多職種が協同し、根拠に基づいたケアを提供する。	<p>①病気の悪化を防ぎ、予防的なケアを実践する。また日々の健康管理を適切に行い、脱水症、低栄養を予防。</p> <p>②事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止。</p> <p>③褥瘡の予防、早期発見、発症時の適切なケアを実践。</p> <p>④褥瘡のアセスメント、モニタリングをケアプランと連動させて標準化する。</p> <p>⑤口腔の健康の保持を図るため、口腔衛生の管理を多職種協同で実践する。</p> <p>⑥便秘を予防し下剤を減らす取り組みを計画・実践し排泄ケアマネジメントを標準化する。</p>	新規 継続	志知課長 松原主任 設楽主任	佐久間 リーダー 谷水看護師 己上栄養士
2	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供。	<p>①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供。</p> <p>②摂食障害者、ターミナル期の方への適切な食事形態や提示方法の提案、実践</p> <p>③治療食の提供に幅を設け、病気があっても楽しみのある食事を提供。</p> <p>④栄養ケアマネジメントを行い、年齢、病状、摂食状況、活動量を維持できる食事の提供を多職種協同で実施する。</p> <p>⑤低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、多職種でミールラウンドを週3日以上実施し、栄養の改善に努める。</p>	継続	己上栄養士	松原主任 設楽主任 谷水看護師
			<p>⑥入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。</p> <p>⑦栄養士による季節感のある手作りおやつ^⑧の提供(年2回実施)</p> <p>⑧年1回嗜好調査を実施する。</p>	継続	己上栄養士	松原主任 設楽主任

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
3	(1)	平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり。	①日々の生活の中にご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ年間レク計画をたて計画的に実施。 ②地域の方々やご家族と共に楽しむことのできる行事を実施。 ③外出行事を実施し外出の機会を増やす。	新規 継続	アクティビティ 委員長	アクティビティ 委員
			④共有スペースの整理整頓と潤いのある生活環境づくり。 ⑤環境委員会による定期的な環境チェックを実施し心地よい環境づくりと清潔・整理整頓の維持する。	継続	環境委員 長	環境委員
4	(2)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス、ノロウィルス、インフルエンザ、食中毒等の感染予防に努める。	継続	志知課長	谷水看護 師 己上栄養 士
			②非常災害時における訓練と感染症対策訓練を計画・実施し予防意識の向上と万が一の事態に備える。	継続	尾上部長	志知課長
5	(3)	知識・技術の専門性を持ち、働きがいのある職場づくり。	①現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感を持てるよう育成する。 ②介護過程の展開を担当者が行い、個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしをつくる。 ③すべての職員が気持ち良い接遇を実践する。	継続	松原主任 設楽主任	志知課長
6	(4)	業務の効率化と働きやすい職場環境づくり。	①目標を明確にし、研修とOJT内容の個人差がないように統一し、安心して仕事ができるよう新人職員を育成する。 ②業務改善(ファイリング、仕事の見える化、オペレーションの随時見直し等)により安心して働ける職場環境をつくる。 ③外国人スタッフの受入・サポート体制の評価と安心して働ける環境づくりの推進。 ④介護負担の軽減と業務の効率化を図るため、介護ロボット等の導入とICT・IOT化の推進。 ⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(8連休)のほか、3連休の取得を推進。	継続	志知課長	松原主任 設楽主任 佐久間 リーダー
7	(5)	適正利益の確保。	①ケアの質向上により入院者を減少させ、目標稼働率(98%)を達成する。(目標介護保険事業収入:102,075,273円) ②全職員がコスト意識を持ち、消耗品、光熱水費の節約に努める。特におむつに関しては実態を把握し、使用のルール徹底を図りコスト削減につなげる。(前年比使用量-3%)	継続	志知課長	松原主任 設楽主任
			③市内病院の相談室・老人保健施設と定期的に連絡をとり、待機者の獲得と円滑な新規入居につなげる。 ④新たな加算(褥瘡マネジメント加算・排せつ支援加算、生産性向上推進体制加算Ⅱ、認知症チームケア推進加算Ⅰ)を取得とLIFEとの情報連携の推進。 ⑤給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施。	継続	高橋相談 員 己上栄養 士	志知課長

事業所名(部署)	小規模多機能ホーム めくもりの家えん
----------	--------------------

<p>1. 基本方針</p> <p>『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 健康で豊かな生活を支えられるよう、多職種協働でケアを提供する。 (2) 感染症や災害対策などの予防・防災意識を高める。 (3) 利用者の地域での暮らしを支えるために、家族・地域住民とのつながりを強め、活かす。 (4) 知識・技術の専門性を持ち、自主性・主体性を持って介護課程を展開し、利用者の満足度を高め、自ら働きがいのある職場をつくる。 (5) チームワークの向上とICT活用を通じて、ケアの質の向上と職場環境の改善を目指す。 (6) 適正利益の確保。</p>
--

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1) (2) (4)	多職種協働を強化し、根拠に基づいたケアの提供につなげる。	①看護職員・介護職員・栄養士と協働を図り、日々の健康管理を適切に行う(水分・必要栄養量の確認と把握、 体重の増減確認)。医療と介護の連携により、入院による停止者ゼロを目指す(R5 2件→ 0件)。 ②利用者の口腔機能低下を早期に確認し、適切な管理等を行うことで重度化予防につなげる(口腔栄養スクリーニング加算I)。	継続	林リーダー 小野看護師 餌 己上栄養士	佐藤主任
			③事故発生時の検証を徹底し、同じ事故の再発を防止する(R5 30件(予測)→ 15件)。 特に薬に関する事故を前年度件数より -30%(R5 14件(予測) → 10件)。	継続	澤田	リスクマネジメント委員会
			④身体拘束および高齢者虐待防止の取り組みを継続して行う(年2回の研修を実施)。	新規/継続	佐藤主任	林リーダー 志知課長
			⑤入院時の状況把握を迅速に行い、 <u>担当医師や相談室との連携を密にとることで入院の長期化を防ぎ、必要最低限の期間での在宅復帰につなげる。</u>	新規/継続	佐藤主任	小野看護師
2	(2)	リスクマネジメントの強化と緊急時の体制づくり。	①感染症対策委員会と連携しながら、コロナウィルス・ノロウィルス・インフルエンザ・食中毒等の感染予防に努める(集団感染 0件)。 ②感染症発生時の対応策の明確化と、職員への定期的な研修の実施。 ③避難訓練(日中・夜間想定)、 <u>非常災害想定訓練の実施</u> (年2回)。	新規/継続	佐藤主任	己上栄養士 小野看護師 志知課長

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規／継続	担当者	
					主査	補佐
3	(1) (4)	安全で美味しく楽しい食事の提供。	①食中毒対策を厳守し、安全な食事を提供する。 ②栄養スクリーニングを行い、年齢・病状・家庭の状況を見て、摂食状況・活動量を維持できる食事の提供を多職種連携で実施する。 ③利用者の嗜好を取り入れた季節感のある食事や、行事食を計画・実施する。満足度調査による評価の実施(年1回)。	継続	己上栄養士	佐藤主任 林リーダー <u>小野看護師</u>
4	(1) (4)	平穏で楽しみや喜びのある暮らしづくり。	①日々の生活の中に、ご利用者と職員が共に喜びや楽しみが感じられる行事を取り入れ、思い出をつくる。 ②ご利用者・ご家族に成果の見えるアクティビティの実施。	継続	<u>寒河江</u>	アクティビティ委員会
			③心身機能の向上にテーマを絞った介護過程の展開を担当者が <u>計画的に行い、ADL・IADL向上に取り組み、実践で活かす</u> 。利用者個々の生活が穏やかで楽しみのある暮らしづくりをすすめる。 ④アセスメントを見直し、利用者個々の望む暮らしに結び付けたケアを提供する。	新規/継続	林リーダー	佐藤主任
			⑤新規利用時を含め、定期的にご利用者・ご家族へ学習療法の効果などをPRし、学習療法利用者を増やす。 <u>すべての職員が学習療法実践士の資格を取得する。</u>	新規/継続	<u>寒河江</u>	<u>佐藤主任</u>
			⑥植物を適切に管理し、潤いのある生活環境をつくる。 ⑦密を避けた心地よい空間作りと、清潔・整理整頓の維持。	継続	<u>出倉</u>	環境委員会
5	(3)	家族・地域住民との連携・協働の推進	①地域住民の学習療法サポーターを <u>再開し</u> 、役割と生きがいをつくる。また、サポーター間の意見交換や実施報告等の機会を設ける。	継続	寒河江	佐藤主任
			②2ヶ月に1回の運営推進会議開催と、家族会・ぬくもり友の会・行政機関等の第三者からの意見や要望を取り入れた、健全で地域に根づいた事業所運営を行う。	継続	佐藤主任	志知課長
			③地域との連携による緊急時(火災)の体制を整備し、災害時の対応について協力を得る。	継続	佐藤主任	志知課長

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
6	(4) (5)	新任・現任職員の育成と、働きやすくチームワークの高い職場の風土づくり。 ICT活用の推進。	①基礎介護知識・技術研修を段階別に行い、重度化対応や根拠に基づくケアを実践する。	継続	林リーダー	佐藤主任
			②すべての職員が気持ち良い接遇ができる。 ③現任職員が目標を持ち、仕事にやりがいと充実感が持てるよう育成する。 ④業務改善(仕事の見える化、ファイリング、オペレーションの見直し等)により、安心して働ける職場環境をつくる。 ⑤有給休暇とリフレッシュ休暇(8連休)のほか、3連休の取得の推進。	継続	林リーダー	佐藤主任
			⑥ICT活用により、ケアの質の向上および職場環境の改善を図る。	継続	林リーダー	佐藤主任
			⑦計画的な外部研修への参加。	継続	佐藤主任	林リーダー
7	(6)	適正利益の確保。	①利用者目標人数23.0名(R5 23.0名)。 (目標介護保険事業収入 60,575,965円) ②地域包括ケア病棟・老人保健施設の相談室を訪問し、待機者の獲得及び新規利用につなげる。 <u>待機者リストを作成し、登録に空きが出た際は速やかに利用に結びつける体制を整える。</u> <u>③新たな加算(生産性向上推進体制加算Ⅰ)の取得。</u>	継続	佐藤主任	林リーダー
			④全職員がコスト意識を持ち、消耗品費・光熱水費の節約に努める。	継続	出倉	環境委員会

事業所名(部署)	サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ
----------	-------------------------

1. 基本方針

『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』

2. 重点目標

- (1) 自分の持てる力を活用して、安心して自分らしい生活を継続できるよう支援する
- (2) 社会参加・社会交流の機会を通して、地域で暮らす楽しみとつながりを感じることができるよう支援する
- (3) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、住民と共に支えるネットワークをつくり、地域貢献する
- (4) 適正利益の確保

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	生活支援ならびに状況把握サービスの提供	①入居者一人ひとりに必要なサービス(介護保険サービス・有料サービス・地域資源など)を見極め、入居者・家族への提案や相談、関係各所との連携を速やかに行う ②入居者・家族同士と職員が相互に意見を交換できる機会を設ける(年1回 家族懇談会の計画・開催)	継続	能登	
2	(1)	入居者の健康管理	①入居者へ向けた健康講座の実施(月1回、15分程度) ②アセスメントを徹底し、既往歴や現病歴から起こりうるリスクを念頭に置いて日々の体調確認を行う ③受診・入院へと繋がりうる体調不良に対して早期に対処できるよう、水分摂取量の把握と摂取機会をつくる。 ④受診や服薬状況などを把握し、必要に応じて主治医や訪問看護との連携を図る	継続	能登	藤原
3	(1)	安全で美味しく楽しい食事の提供	①食中毒予防対策を厳守し、安全な食事を提供する ②入居者の摂食状況を確認し、変化に迅速に対応する ③入居者の嗜好を取り入れた季節感のある食事、行事食の計画・実施。満足度調査による評価の実施 ④ <u>栄養士による季節感のある手作りおやつ</u> の提供(年2回)	継続	栄養士	能登
4	(1)	心身機能の維持向上と日常生活の活性化	①指導士やサポーターの協力を得ながらあったかすリハビリ体操教室・ふまねつと教室を実施し、交流を楽しみながら心身機能の維持向上を図る ②併設のフィットネス倶楽部の利用啓発 ③昼食前に嚥下体操や転倒予防体操を行うことで機能維持を図る	継続	能登	藤原
6	(1)	専門的知識の向上	①夜間当直員・生活支援員を対象に研修(<u>緊急時対応研修</u> (年2回))・マナー接遇と自立支援・認知症研修)を実施し、知識・技術の習得 ②法人内研修(基礎介護力向上研修)に参加し、知識・技術の習得 ③給食会議の開催により、調理員の情報共有と技術力向上を目指す(年3回)	継続	能登	

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
7	(3)	地域への貢献	<p>①昼食を地域住民に1日7食限定で提供し、外出機会・他者との交流機会をつくる</p> <p>②地域住民の学習療法サポーターによる、たかほでの学習療法を開始し、役割と生きがいをつくる。</p> <p><u>③北野地区住民に学習療法を周知・実施し、地域の認知症予防・機能維持につなげる。</u></p> <p>④認知症カフェ(デコぼん茶屋)の開催を、地域住民が主体的に実施できるようサポートする</p> <p>⑤認知症サポーター養成講座を計画・開催し、認知症の知識普及</p> <p>⑥認知症の方の活躍の場創出(ちよっと大丈夫かな食堂)の開催を鷹栖町社会福祉協議会・地域住民と協働し実施する</p> <p><u>⑦高齢者に対する低栄養の改善・社会的孤立感の解消・アクティブシニアに対する生涯活躍の機会の提供のため、月に1回法人による地域食堂を実施する。</u></p> <p><u>⑧地域食堂を通して、地域住民との関わりを持ち、食事・栄養に対するニーズを把握する。</u></p> <p><u>⑨地域における介護予防の取組みを促進するために、2か月に1回栄養士による料理教室を実施する。</u></p>	新規/継続	能登	栄養士
8	(2)	役割のある暮らしの支援	<p>①入居者の有する能力に応じた役割を選定し、声かけをはじめ掲示板や回覧を通して活動への参加を促す</p> <p>②日々の中で入居者が自発的に活動に取り組めるよう、レクリエーションの道具類を準備する</p> <p>③入居者の喜びや楽しみにつながるレクリエーションや行事を計画し、地域の協力を得ながら実施する</p> <p>④たかほ自治会の発足と運営の助言・サポートを行い、役割ややりがいを感じる生活にする</p>	継続	能登	藤原
9	(3)	適正利益の確保	<p>①満室18名を達成・維持する(R5年度 平均17.8戸、平均実績稼働率98.6%) 目標稼働率97%(17.5戸)、目標事業収益 25,509,898 円(前期:25,825,688円)</p> <p>②鷹栖町内・旭川市内・上川管内の地域包括支援センターを電話・FAXでの入室情報提供を行い、待機者獲得につなげる(年2回)</p> <p>③入居者募集チラシを作成し、近隣地域へ配布</p> <p>④広報やブログを通して、魅力を感じてもらえる情報の発信を積極的に行う</p> <p>⑤全職員がコスト意識を持ち、消耗品費や光熱費、暖房費の節約に努める</p> <p><u>⑥給食費の予算に合わせた献立作成と無駄のない食材の仕入れの実施</u></p>	継続	能登	

事業所名(部署)	サービス付き高齢者向け住宅 めくもりの家たかほ(第2層支援コーディネーター)
----------	--

<p>1. 基本方針</p> <p>『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』</p> <p>2. 重点目標</p> <p>(1) 住み慣れた地域での生活が継続できるよう、住民と共に支えるネットワークをつくる</p>
--

3. 事業所(課)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	地域住民との連携協働	①地域住民の学習療法サポーターによる、たかほでの学習療法を実施し、役割と生きがいをつくる ②北野地区住民に学習療法を周知・実施し、地域の認知症予防・機能維持につなげる。 ③認知症カフェ(デコほん茶屋)の開催が、地域住民が主体的に実施できるようにサポートする ④認知症サポーター養成講座を計画・開催し、認知症の知識普及 ⑤認知症の方の活躍の場(ちょっと大丈夫かな食堂)の開催を鷹栖町社会福祉協議会・地域住民と協働し実施する ⑥たかほ自治会の発足と運営の助言とサポートを行い、役割ややりがいを感じる生活にする ⑦地域と連携し配食弁当の対象者を選定し、フレイル予防に取り組む	新規・継続	能登	

事業所名(部署)	鷹栖町ヘルパーステーションさつき苑
----------	-------------------

1. 基本方針
『良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力で創る』
2. 重点目標
- (1) 根拠に基づく介護サービスを確実に提供するための基盤を整備する。
 - (2) 地域と家族の力を活かした事業所運営の基盤を整備する。
 - (3) 職業倫理を遵守し、自立支援を念頭においた介護サービスを提供する。
 - (4) 自己課題の克服とチーム力の向上を目指し研修プログラムの充実を図る。
 - (5) サービスの質向上と職場環境(介護負担の軽減、業務効率化)の改善を図る。
 - (6) 適正利益の確保

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	根拠に基づくサービス提供	①課題・ニーズを的確に捉え、自立支援の視点から、質の高いサービスを提供する。	継続	米澤	伊藤
2	(1)	サービスの内容及び提供方法の標準化	①ヘルパー会議で支援の困難な利用者についてカンファレンスを行い、サービス提供方法の詳細について意見交換し、標準化を図る。 ②毎月の会議内で介助・支援方法について、具体的に伝え学ぶことで安全で安心できる技術を習得する。	継続	米澤	上野
3	(2)	地域・家族との関係強化の取組み	①茶話会を継続して行い、職員自身が地域を知り、学び地域住民の潜在しているニーズを把握する。	継続	深瀬	藤木
4	(2)	利用者・家族と職員との交流促進	①長寿を迎えられる利用者を対象に、自宅を訪問しお祝いを伝える。 ②外出する機会を得て、他者との交流や生活に楽しみを持てるような働きかけを行う。	新規/継続	上野	藤木

3. 事業所(係)における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
5	(3)	<u>職業倫理を遵守する取組み</u>	①身体・精神的虐待ゼロを誓い、適切な接遇態度を身につけ安全確保に徹したサービスを提供する。	継続	米澤	伊藤
6	(4)	専門性と介護技術の向上	①計画的に外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。 ②ヘルパー研修を通し、各自が講師を行うことで知識と技術の習得を図る。 ③自立支援を行い、利用者のADL・意欲・QOLの向上を図る。	継続	米澤	深瀬
7	(5)	サービス評価と自己研鑽の取組み	①利用者満足度調査を実施し、広報「さつき」で情報公表する。	継続	米澤	伊藤
8	(5)	職場環境の改善	<u>①計画的にリフレッシュ休暇8日間を取得し、仕事に対するモチベーションアップを図る。</u>	新規/継続	米澤	上野
9	(6)	利用者獲得のための営業・広報活動を強化する	①月実人数 <u>90人(R5, 95人)</u> 新規利用者 <u>24人(R5, 30人)</u> 月間述べ訪問回数 <u>830回(R5, 875回)</u> を目標に掲げ毎月実績確認を行い、その都度収益増減の原因を明らかにする。	継続	米澤	深瀬
	(6)	適正利益の確保	<u>①目標収益を35,400,394円(前年度39,398,329円)月刊訪問回数830回に掲げ、加算取得・茶話会活動を展開する。目標達成に向け、会議で実績報告を行いサービスの不足している状況がないか確認をする。</u>	継続	米澤	伊藤

事業所名(部署)

地域介護予防活動支援事業 ・ 地域リハビリテーション活動支援事業 ・ 介護予防普及啓発支援事業
在宅医療・介護連携推進事業 ・ 法人自主事業

1. 基本方針

基本方針(さつき会)

「良いケア・良い職場・良い経営をみんなの力を創る」

総合事業 基本目標(鷹栖町)

「高齢者が生涯活躍し、助け合い・支えあいによるお互いさまのまちづくり」

2. 重点目標

- (1) 住民が主体となって参加し、住民が住民を支える仕組みを作り、地域に根差した「楽しい」介護予防活動を推進
- (2) 地域における介護予防の取り組みの強化を図る
- (3) 医学的根拠に基づいた運動指導等を実施
- (4) 町内の医療・介護関係者の顔の見える関係づくりを行い、在宅医療・介護の情報共有、連携を推進する
- (5) 根拠に基づいた知識を住民に教育し、ヘルスリテラシーを高める

3. 事業所における取組み

No.	重点目標との連動	取組み事項	取組み内容	新規/継続	担当者	
					主査	補佐
1	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ① あったかすリハビリ体操の普及・住民主体の通いの場の立ち上げ支援 ② あったかすリハビリ体操指導士の活動支援 ③ あったかすリハビリ体操指導士の活動意欲促進 ④ あったかすリハビリ体操指導士の養成 ⑤ サーキットトレーニングの運営 ⑥ 利用促進のためのイベント開催 ⑦ 新規利用者への広報活動 ⑧ 取り組みの啓発活動 (地域介護予防活動支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ① 体操指導士による住民主体のあったかすリハビリ体操教室を月12団体運営する(R5年度平均10.3団体/月) ② 住民主体の通いの場の活動支援(月1回) ③ 体操指導士のための定期的なミーティングや復習会を月1回開催する ④ あったかすリハビリ体操指導士養成講座を開催し、新規体操指導士を10名養成する(R5年度6名) ⑤ 月実利用人数100名を目標に、サーキットトレーニングでの運動指導を行う(R5年度平均88.0名/月) ⑥ 無料体験会を年2回開催し、それぞれ3名の新規利用登録につなげる ⑦ 鷹栖町と協働して、介護保険証交付時にコレカラ利用促進のための広報活動を月1回実施する ⑧ 健康寿命をのばそう！アワードへの応募(新規) 	新規/継続	大河原	大矢
2	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体機能評価の実施 ② 包括支援センターからの相談対応 ③ 老人会における介護予防活動 ④ 町の特定健診での身体機能評価 ⑤ フレイル対策 (地域リハビリテーション活動支援事業)	<ul style="list-style-type: none"> ① 月3名を目標に、コレカラ新規利用者に身体機能評価を実施し、適切な運動内容の指導(R5年度平均0.9名) ② 月3件を目標に、地域包括支援センターや居宅介護支援センター、各事業所からの相談対応を行う(R5年度平均0.9件) ③ 年10団体を目標に、老人会に出向き、体力測定会や健康講話の実施(R5年2団体) ④ 町の特定健診において身体機能評価やフレイルチェックを実施(R5年度1回実施) ⑤ 多職種協同でフレイル教室を開催する(保健事業と介護予防の一体的実施、新規) 	新規/継続	大河原	大矢

3	(3)	<ul style="list-style-type: none"> ① レッドコード教室の運営 ② コレカラサポーターの活動支援 ③ 毎日運動プロジェクトの実施 ④ 住民への住民参加型介護予防の啓蒙 <p>(介護予防普及啓発支援事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 月実利用人数70名を目標に、レッドコード教室での運動指導を行う(R5年度平均70.7名) ② 月実人数10名を目標に、コレカラサポーターの活動を継続、復習会の実施(R5年度平均9.3名) ③ 年1回運動習慣化に向けて、公式LINEにて運動プログラムを配信する ④ 講師を招き、地域住民に向けて住民参加型介護予防に関する研修会を開催(新規) 	新規/継続	大河原	大矢
4	(4)	<ul style="list-style-type: none"> ① 住民への在宅医療・介護連携に関する知識の啓蒙 ② 在宅医療・介護関係者の連携推進 <p>(在宅医療・介護連携推進事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 在宅医療・介護連携に関する住民向け研修会を年2回開催する(R5年度2回開催) ② 在宅医療・介護連携に関する医療・介護職向け研修会や情報交換の場を年1回開催する(R5年度2回開催) 	継続	大河原	大矢
5	(5)	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護予防に関する基本的な知識の普及啓発 ② 健康に関する自己管理の推進 ③ 互助活動の推進 ④ 公式LINEアカウントの運用 <p>(法人自主事業)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 月実人数60名を目標に、レッドコード教室にてヘルスリテラシー講座の実施(R5年度未実施) ② 月実人数10名の継続利用を目標に、健康手帳の配布および利用促進する(R5年度10名) ③ ボランティア交流会(目標20名)やボランティアによる大掃除(目標15名)等の実施(R5年度大掃除2回実施、それぞれ13名、18名参加) ④ 登録者150名を目標に、コレカラの公式LINEアカウントを運用する(R5年度141名) 	継続	大河原	大矢

令和6年度 行事・研修予定表

年次	令和6年度																																																													
	10月							11月							12月							1月							2月							3月																										
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
法人全体	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
総務課	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
さつき苑	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
なごみの家	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ぬくもりの家えん	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
デイセンター	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
ステーション	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
居宅介護支援	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
サ高住	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
総合事業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31